

[< !-td nowrap class="border_green"> ● Shop Guide](#)

今月号の記事から	● この街・あの人・どんな顔	● 味 紀 行	● インフォメーション	● 読者プレゼント	● 募集のご案内
バックナンバー	● この街・あの人・どんな顔	● 味 紀 行	● Shop Guide	● ぶれいすがいど	
相模原・城山エリアの販売センター	● 各販売店所在地・配達エリア	● 各販売店取扱紙・ご購入申込み		● リンク集	
このページは...	● トップページ >>	● この街・あの人・どんな顔 >>	● 野村謙介		

この街・あの人・どんな顔

2003/12/10掲載



メリーオーケストラ主催
ヴァイオリン奏者 **野村 謙介**
のむら けんすけ

1960年生 津久井郡城山町在住
東京都出身。桐朋学園大学音楽部演奏学科にて
ヴァイオリンを専攻。

【1985年】新設 神奈川大学附属中・高等学校 音楽
(芸術科)専任教師として勤務。同校にてオーケ
ストラを創設。独自のオーケストラ運営計画と既存
のエチュードに依存しない練習方法を確立。現在
150名によるフルオーケストラとなっている。

【2001年】地元 城山・相模原で、子どもたちのため
のオーケストラ「メリーオーケストラ」を立ち上げ、
運営・指導をおこなっている。

家族4人で結成した「ジャックファミリー カルテッ
ト」は、国立がんセンターでのボランティアコンサ
ートなどを行い、その模様がNHKテレビで放映さ
れた。

音楽は 身近で楽しいものだ。
奏でることの喜びをひとりでも
多くの子どもたちに教えた
い...

誰でも参加できる合奏団体「メリーオーケストラ」。子どもたち中心のオーケストラの運営、指導にあたる野村謙介氏(城山町在住)はヴァイオリンの弓で指揮をとり、地元での音楽活動に夢を奏でる。

体が弱く、閉じこもりがちだった幼年期の野村氏に両親が与えた場が、近所のヴァイオリン教室だった。

「『男の子のくせに音楽、しかもヴァイオリンなんて』と言われるのが嫌で、倉敷の小学校時代は、周囲には隠していたんですよ。時代は変わっても、音楽、殊に弦楽器に対する特別意識はあまり変わっていないと嘆く野村氏。

「音楽は一部の特別な人だけのものではなく、本来、身近で楽しいものだ、ということ一人でも多くの人に伝えたいし、体感して欲しい」。この考えが、音楽家・野村氏の、後の活動理念になった。

音楽高校受験へ挑戦

元来、ヴァイオリンが性に合っていたのだろう。父の転勤で再び戻った東京では、中学校の音楽クラブに所属し、ヴァイオリンを弾いていた。音大の教授に師事し、レッスンも続けてはいたが、音楽で身を立てようと考えたことは一度もなかった。

中学3年の夏休み。「音楽の高校でも受験してみますか...」という教授の一言から果敢な挑戦が始まった。当時野村氏は、ピアノも、聴音、楽典も未経験だったので、週に3、4日、1回4時間の聴音の特訓に通い詰めた。

また、ピアノを初歩から始め、午前中は学校を休んでヴァイオリンのレッスンを受けた。半年間、必死に音高受験のためだけに時間を費やし、名門、桐朋学園高校に見事合格。まさに快挙だった。そして、同大学に進みヴァイオリンを専攻する。

普通校でオーケストラ

音大卒業後、新設されたばかりの神奈川大学附属中・高校の芸術科音楽専任教師となり、早速、本領を発揮。新設1年目の学校でオーケストラを結成しようとしたのだ。呼びかけで集まった部員は、音楽未経験者ばかり11人。

「弦楽器は弓を弾けば音が出ますから、簡単なんです。基礎的な手ほどきをして、やさしい曲を繰り返し練習して、教則本よりも先に、演奏する楽しさを教えちゃいました(笑)」。学校や保護者に理解を求め、少しずつ楽器を買い足し、部員も徐々に増えた。

今年で創立19年目を迎え、150人編成の堂々たるオーケストラに成長した。各種大会で優勝、関東甲信越で2位という実績も築いた。

地元で音楽の輪を...

私生活では、高校・大学で同門の千里さんと結婚。5年前に津久井郡城山町に転居。家族で結成した「ジャックファミリー カルテット」では、夫妻と長女がヴァイオリン、次女がチェロを担当し、



メリーオーケストラ賛助会員募集
事務局 野村謙介
E-mail nomuken@nomuken.net
<http://www.nomuken.net/merry>

病院や福祉施設で演奏を行っている。

家族だけでなく、自分たちが住む地元で、大勢の子どもに音楽の楽しさを教えたいと考えた夫妻は、2年ほど前に誰でも気軽に参加できる『メリーオーケストラ』を立ち上げた。演奏会の日程を決めてから奏者を募集するというユニークな方法で、小学生中心のメンバー約30名でスタートした。これまでに、4回の定期演奏会を開催し、付き添いで来ていた母親も数名加わり、現在は、1月12日に開催する第5回目の演奏会へ向けて練習中。「王様が、どっしりと歩くように」などわかりやすい指導のもと、熱心に練習する子ども達。楽しいから一生懸命練習する。だから驚くほど上達も早い。

この団体は、音楽教室ではなく参加型の音楽集団だ。メンバーは、演奏会と合同練習の参加費の負担だけなので、かなりリーズナブルだが、運営側は決して楽ではない。

「5歳で入団した子が、15歳になって後輩を指導する。そんな風に地域の中で繋がりができたらいいと思う。地域全体で子ども達を応援していけばドロップアウトする子も減っていくはずで

す。音楽にはそんな力があります。数年後には、地元が誇れるオーケストラに成長させたい」。

手弁当でメリーオーケストラを運営する野村夫妻。「休日に練習室を提供して下さるとか、演奏会のプログラムに広告を頂くとか、様々な形でのご支援をお願いしています」。

音楽に親しむ子ども達を育てるために、奔走する野村氏。指揮する彼を見つめる子ども達の真剣な眼差しが、野村氏の原動力になっている。

～ メリーオーケストラ 第5回 演奏会 ～

日時 2004年1月12日(成人の日)

14:00開演 (13:30開場)

場所 社のホールはしもと 入場無料

曲目 パーセル/アプデラザール組曲より

チャーリーブラウン・クリスマス ほか

初心者大募集！ いっしょに演奏会に出てみませんか？



[HOME](#) | [ご意見・お問い合わせ](#) | [ページのトップへ](#)

(C) 2000-2005 Yomiuri Home Town. All Rights Reserved.